

ちくちく

仲間の

手作りの

気心の知れた仲間との手作りは元気の源。
東京都品川区八潮に集まる八潮ハーモニィの
皆さんの創作服です。

東京湾に浮かぶ人工の島という特性を生かした町づくりと地域の活性化を目的に活動をしている八潮ハーモニィ。2011年からは東日本大震災被災者への鎮魂と復興を祈り、京浜運河緑道公園でキャンドルナイトを実施。その際に使用する灯籠は、京浜運河沿いを走る東京モノレールの発券機用紙管を土台にするなど、限りある資源を生かす取り組みもしています。エコロジカルな心意気はいっしょに着物リメイクにも繋がります。

「祖先の着物を大切にすることは、日本人の文化を見直す大切なこと」と会長の鈴木旭さん。長年趣味で創作服を作っていた渡辺広美さん、山崎恵子さんが中心となり、今年5月にはストリートファッションショーを開催。約50着のリメイク服を20人ほどの地域住民がモデルで纏い、通りや公園を練り歩きました。「善意の和が広がり、手作りの仲間が増えていくことが希望です」と目を輝かせる渡辺広美さんです。



七五三の着物から

中にLED
ライト入り



①思い出の七五三の着物をベストとスカートに。渡辺広美さん作 ②写真左から山崎恵子さん、八潮ハーモニィ会長の鈴木旭さん、渡辺広美さん、渡部明子さん ③東京モノレールの発券機用紙管に和布や和紙を貼り、造花で飾りつけた灯籠。キャンドルナイトやストリートファッションショーなど野外イベントに欠かせない ④地元商店街の協力を得て、ストリートファッションショーの舞台となった南大井の通称極楽横丁。老若男女が生き生きとした表情で着物リメイク服を身に着けた ⑤鮫洲入江広場に咲き誇る百合の花畑がランウェイに早変わり。皆、自然に笑みがこぼれる